

里山創りと生物多様性

小林 あこ / 今関 香 / 明田 季子

里山とは

人が住んでいる近くにある低木で構成された場所。

昔は食料や生活材料を集めるための

狩りなどが行われていました。

・私たちが目指している里山

人間と動物の共存

両方のバランスが取れている状態



・どうやって実現するのか

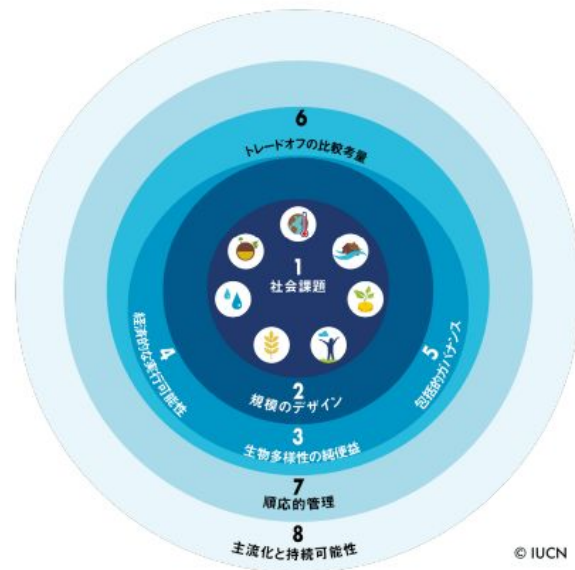
そこで私たちが提案するのが

※Nature-based Solutions (NbS) の考え方

Nature-based solutionsとは、自然を基盤とした解決策のことで、社会課題に効果的かつ順応的に対処し、人間の幸福と生物多様性による恩恵を同時にもたらし、自然及び人為的に改変された生態系の保護、持続可能な管理、回復のための行動を指す。

自然の力を活用して生態系と人々に恩恵をもたらしながら社会的な課題を解決すること、つまり、人と自然にとって Win-Win の関係を目指すという点が特徴的な概念となっている。

NbSを提唱する国際自然保護連合 (IUCN) は、2020年に初のグローバル標準「IUCN Global Standard for Nature-based Solutions」を発表し、政府や民間企業、開発援助機関や金融機関、NGOによるNbSの取組みを推進している。



<https://ideasforgood.jp/glossary/nature-based-solutions/>参照

・現状

- ・人が相次ぐ土砂くずれや、法改正で山肌を削ったり、改修工事を行ったりしている。
- ・地域にある里山の木材を活用できていない→植物の多様性が失われる=山の多様性も

 これにより元々生活していた動物や見かけていた動物が姿を消している。
ex.イノシシ/タヌキ ex.キツツキ/みみずく

その他にも、気づかないだけで植物や昆虫等、様々な生態系に影響を及ぼしている。



保久良地区斜面对策工事後の様子 ↑ →

・一方で...

山肌の近くに住んでいる人々もおり、そこに住む人々の命を土砂崩れから守る他、彼らにも人権がある。

中には、移り住めばいいという意見もあるが、所有権の関係もあり問題解決へはまだまだ時間がかかりそうだ。

2022.12.31 AM12:55分頃

山形県鶴岡市西目で発生した土砂崩れ

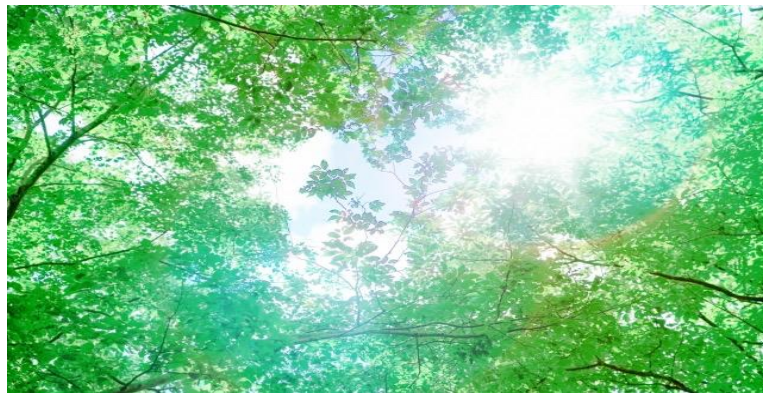
<https://motokenblog.com/tsuruoka-landslide/amp/>より



人間の技術と自然のパワーを組み合わせれば最強。



×



人間の技術 & 昔からの知恵
企業、先人たち

何も手を加えない本来の
自然の力と恵

お互いのいいところ！

具体例

- ・人工林→定期的な手入れ
- ・アスファルト→その山の土を粘土にして工事をする際に利用
- ・化石燃料→まき(バイオマス)、太陽光

自然の力を利用した
生活・暮らしの環境

その他

植林の際に一部分の雑草などの根を残しておいて、育つようにすることで
そこで生活している動物や昆虫が生きることができる。

- (特に草食の生き物が住んでいるエリアを調査し、そのエリアでできたらなおよし)

NBCに基づく共生のための環境づくり

例 土砂崩れ防止対策

1, 県有林の木を切って板状に加工(工場)

2, 工場で作ったものを現場にもっていき、設置

→この方法だと、工期が短いし、足場もいらない!?

腐ってきたら、チップにして土に返す。ダメになった場所は、
また県有林の木を使う。

→この考えと似たようなもので実際に行われているのが、

「メッシュウォールガード工法」仮設防護柵の工期約75%減・コスト約50%減



(出典:太陽工業株式会社)



あくまでもこれは1つの「例」。
私たちは、この例の先に広がる

自然共生や**生物多様性の発展**を
見据えています！



SDGsにも貢献！



達成できる項目がたくさん！
地球にも動物にも人にも優しいね！

<https://sdgsjapan.com/sdgs17>参照

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
→化石燃料から自然のエネルギーに変える
ex. 太陽光、バイオマス発電など

8. 働きがいも経済成長も
働きながら自然と社会に貢献。
環境保全で経済のいい循環がうまれる。

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう →
企業、個人、政府が一体となることで
みんなが自分ごととして社会をつくる。

11. 住み続けられるまちづくりを
→ 限りある資源を大切につかう。

12. つくる責任 つかう責任
→ 地球人の一人として、
環境への意識を当たり前。

15. 陸の豊かさを守ろう
→ 里山は陸の資源の宝庫。
動植物の衣食住が整う。

16. 平和と公正をすべての人に
→ 動物と人間お互いに攻撃しない。

17. パートナーシップで
目標を達成しよう
→ 里山でできる地域の
コミュニティと繋がり。

**自然か不自然か。
美しい地球を未来につなげたい。
本来の自然、里山を取り戻そう！**

**#sustainable
#for future**

ご清聴ありがとうございました😊